



ジオスペース館だより

★ギリシア神話と日本神話 ～ おもしろ比べ ～

ギリシア神話には、自然や文化に関わる数多くの神が登場し、日本の八百万の神と多くの共通点があります。諸説ありますが、『ギリシア神話』と『日本神話』は、どんな所が似ているのか比べてみましょう♪



ヘルメス(ギリシア) ⇔ サルタビコ(日本)



☆ ギリシア神話 <旅人・商人・道の神 ヘルメス (おうし座)>



「おうし座」は、顔の辺りに「ヒアデス星団」、肩の辺りに「プレアデス星団（和名すばる）」と2つの有名な星団を持つ星座です。神話では、大神ゼウスが、お気に入りの美しい娘イオを妻ヘラから隠すため、真っ白な牝牛に変身させた姿だとされています。しかし、それに気づいたヘラはその牝牛をもらい受け、百眼の怪物アルゴスに見張らせませす。困ったゼウスは、ずば抜けて利口な息子ヘルメスにイオの救出を依頼。ヘルメスは、葦笛の音色を使って怪物アルゴスを眠らせ、100個の目が全て閉じたところで首を切り落とし、イオを助け出したということです…。ヘルメスは、神々の使者として様々な物語に登場しますが、元々は旅人や商人、道の守護神として活躍しています。

☆ 日本神話 <サルタビコ>

日本神話にも、旅の守り神とされ、街道に道祖神として祀られている神がいます。伊勢の国つ神サルタビコです。サルタビコは、天つ神の最高神アマテラスの孫であるニニギが天から地上に降り立った時、分かれ道でニニギを出迎え、道案内したといわれています。日本書紀では「サルタビコは長い鼻を持ち、口の両端が明るく光り、目は赤く輝いている」と天狗のような姿が記されています。近年、その赤い目が「おうし座」の赤い1等星アルデバランで、顔がヒアデス星団にあたるという研究者の説もあり、おうし座との共通点に関心が高まっています。



イベント情報 中央図書館2階事務室で受付中! (各チラシをごらんください)

♪ プラネタリウムコンサート 音楽でつづるクリスマスの物語 「ちいさなもみのき」12/23(土) ①10:30～ ②13:00～

参加料: 1人300円(各回先着100名)、《 チケット発売中! 》 (演奏: むさしの会)

★ 星のお兄さん&びわっくん★プラネタリウム笑(ショ) 1/21(日) 15:00～

参加料: 1人500円(先着120名)、《 チケット発売: 12/23(土)～ 》



☆☆ 12月のプラネタリウムのご案内 (16日(土)～) ☆☆

平日	15:00～※	☆ ベツレヘムの星 ☆
土日祝	10:30～	ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検 3 ～地球のふしぎ～
	13:30～	国際宇宙ステーション ISSからの眺め
	15:00～※	☆ ベツレヘムの星 ☆



※ 27(水)・28(木)の13:30～は、「ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検3 (字幕付)」を上映します。
 ※ 23(土)の10:30～・13:30～は、「ファミリーコンサート」のため上記番組の上映はありません。

☆ プラネタリウムの休館日 <12月・年末年始> 18(月)・20(水)・25(月)・26(火)、29(金)～1/4(木)

<1月> 9(火)・15(月)・17(水)・22(月)・29(月)

豊川市ジオスペース館☆